



**グイヤド★
砕けない**

RIROLAND

☆ヤド☆ は 砕けない



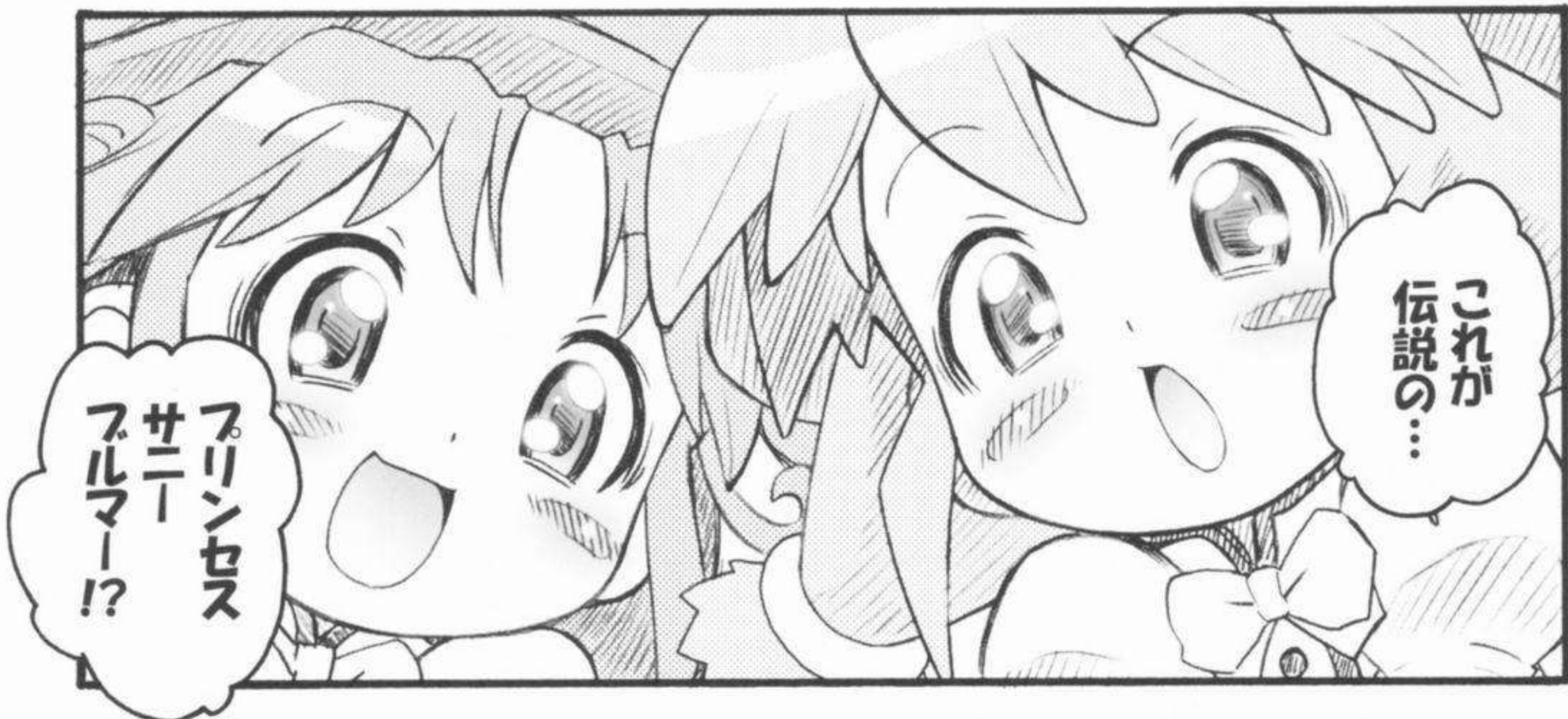




☆CONTENTS☆

- | | | | |
|----|----------|--------|----|
| 07 | ☆伝説のチカラ☆ | ～前編～ | 空鶴 |
| 19 | ～王子の災難～ | 里見ひろゆき | |
| 23 | ☆伝説のチカラ☆ | ～後編～ | 空鶴 |

表紙 空鶴



これが
伝説の…

プリンセス
サニー
フルマー!?



☆伝説のチカラ☆

~前編~

空鶴



それは
プリンセス修行に
欠かせない
ものです

さあ…
試してみなさい



不用意に
トチカゲルなモ〜

そーとプモ!
御一人の為に
エリザ様が



それじゃあ
ヤ〜ンおね〜

やっぴみよー!!









あああ〜ん ☆

ずぶぬとぬ

じゃあ
オチンチンを
入れるのは
私が先
だからネ!!

ええー!?



ピクピク !!



お父さま…あっ

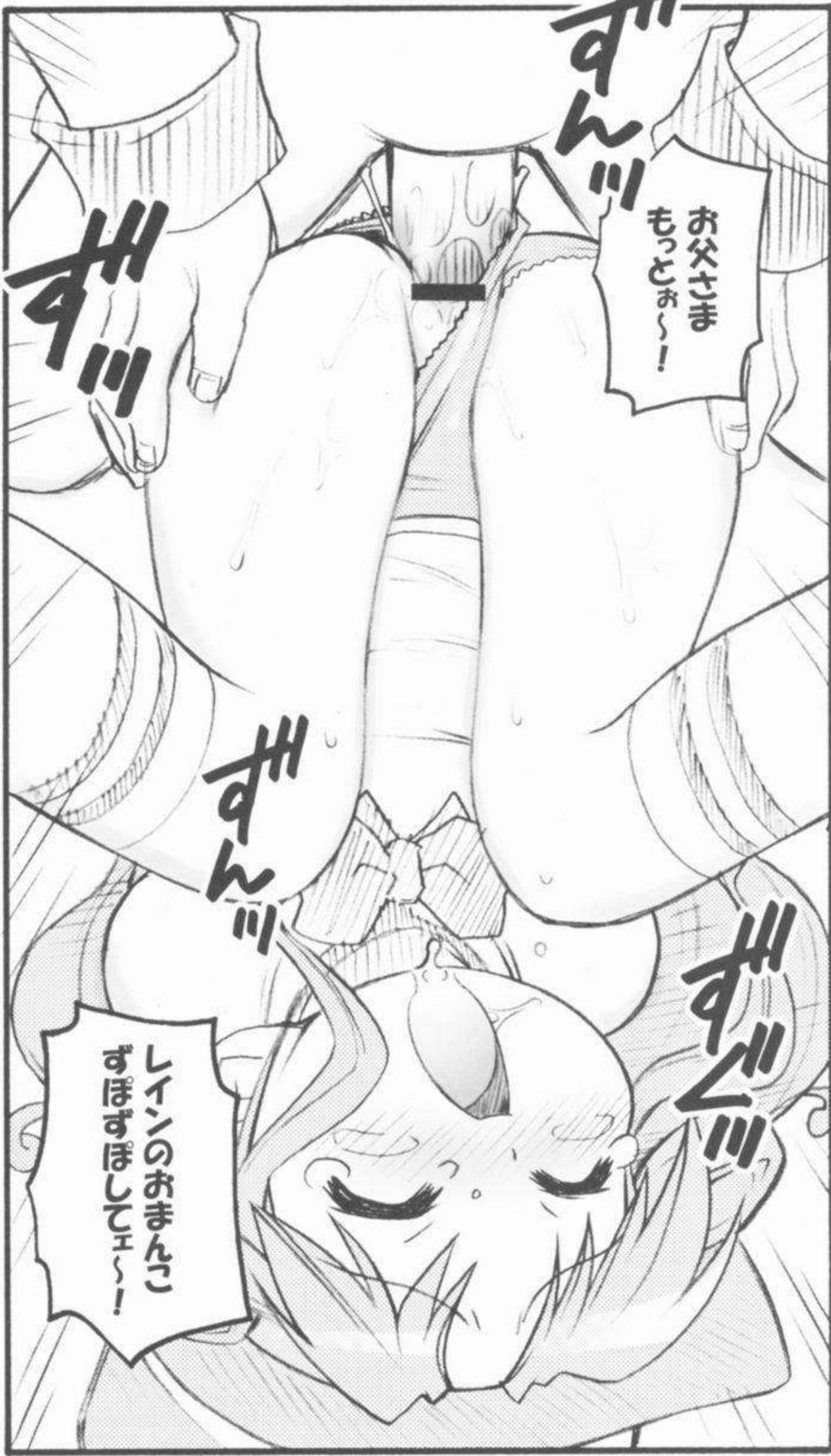
おっきい〜 ☆



な、なになの〜!?

ゴゴゴ

ゴゴゴ





深いよお

お腹の奥に
当たってるのよ〜



お母さま…
私…私の
オチンチン…



オチンチン
気持ちいいよ!
あっ…あっ
だめ…っ手が
止まらないイイ



破裂しちゃう
よお…!

まあ…
それは仕方が
ないわね…



いいわよ
ファイン...

私でそのいきり
立ったモノを
鎮めなさい!

はあ

たぶん

お母ナホ...

はあ

はっ

はっ

はっ



あああん!

お母ナホ...

お母ナホの胸なほ...

アツク

アツク

アツク
キツク

気持ちイイ
よあ〜!!

アツク



ぬる

ぬるぬる

あああ〜!!



ふふ、エリザ…
娘に犯されている
君も素敵だよ

私…あっ
もうダメエ

イミチキツメ
フアイン…!

私…
私も…

キツメキツメ
キツメキツメ
フアイン…!

…あっ

あああん
恥ずかしいわ
トウルース…



おそらく!!



おそらく
これが真の
プロミネンス
のカ!!

いったい
何が起る
んだ!?



いっきにキター!!

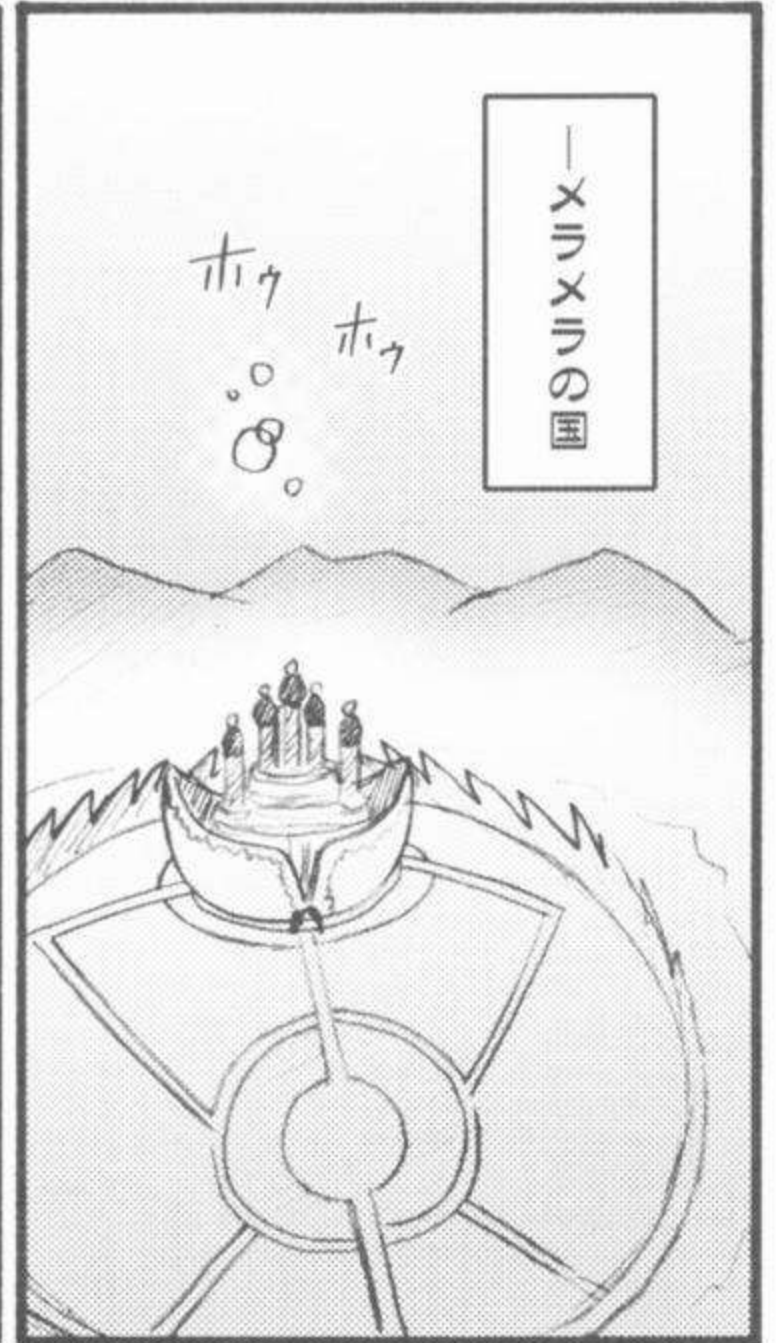
いっきにキター!!



おひさまの国
だけに留まら
なかつた！



真の
プロミネンス
の力！
ファインと
レインによる
この膨大な力
の影響は！



～王子の災難～

里見ひろゆき



『なな何をなさるのですか～!?』
がざくるまの国の王女ソフィーが、自分のオチンチンを
啜えるのを見てティオはびっくりしてしまいました。
メラメラの国の第1王子である自分が内密にがざくるまの国に
呼ばれた時から少々おかしいとは思っていたのです。

『うふふ♪大丈夫ですわ。今からとても…気持ちの
いいことをして差し上げますのよ♪』
ソフィーは上品ににっこりと笑うと、
おもむろにオチンチンの裏側に
舌を這わせ始めました。

『や、止めるのです～！そこは
おしっこが出る場所なのです～！』
泣き声を上げるティオ。尊敬する
父上からもこんな事は
教わってはいません。

しがしその嫌悪感次第に…
ぞくぞくする気持ち良さに
変わってきました。

と、同時に…オチンチンが
がちんがちん
なってきたのです。



『やや！なんとした事ですか!?!』

ティオはまるでオチンチンが剣になってしまったかの様にびっくりしました。

剣技なら自分は大得意です。

『うふふ…元気が出てきたようですわね。このまま最後までして差し上げたい所ですけど…少々お待ちくださいね♪』

ティオが顔を上げると、そこにははずくの国の王女、ミルロが立っていました。頬を赤く染め…ティオとソフィーの行為をじっと見えています。

『ソ、ソフィー…本当にしなきゃダメ?』

泣きそうな顔でミルロが問い掛けます。

『そうですわね…次のプリンセスパーティはいかに多くの殿方の精液を飲めるかの勝負だから練習したいと仰って来たのは…ミルロさんだっと思ったんですけど…』

ソフィーは首を傾げ、ミルロの方を向きます。

『だ、だって私…おちんちん舐めるなんて…知らなかったんだもん…』
 「おちんちん」という言葉を使う時、ミルロの顔はいっそう赤くなりました。
 『そうが…なら仕方ありませんわね。プリンセスパーティの会場で大勢の人に見られながら屈強な
 肉体労働者系の殿方の巨大オチンチンを舐めるのが初めてというのも…一生忘れられない
 思い出になって良いかも知れません』
 フムフムと一人頷くソフィー。ミルロの顔は…今度は真っ青になってしまいました。

『そろそろ…まずはたまたまの方を舐めるのも良い方法ですわよ♪』

『は…はふい…』

はむはむとティオの峯丸を啜るミルロ。つやつやした表面を甘噛みし、ぺろぺろと舌を
 躍らせます。

『うなななあ…。我がオチンチンが…たまた大変な事に…………』

顔を真っ赤にし、歯を食いしばるティオ。メラメラの国の王子のそんな様子を見ているうちに、
 だんだんミルロの心にも余裕が出てきました。

ぱくんっ。先ほどソフィーがやっていたようにティオの
 オチンチンを頬張るミルロ。先端から何が滲んで
 いましたが、もう嫌悪感はありません。むしろ健気に
 ふるえるオチンチンの事を、愛しいとさえ思い始めて
 いました。

『うふふ…ミルロ、あなたやっぱり
 お上手ですわ〜♪』

満足そうな笑みを浮かべるソフィー。
 ちからはあるのに心配性のあまり実力を
 発揮できない、そんなミルロをソフィーは
 いつも歯痒く思っていたのです。

四つん這いのミルロのスカートを捲り上げ
 下着を剥くソフィー。見るとそこからはもう、
 とろとろと蜜が溢れ出ています。

『ミルロ…………』

上気した尻をぱっくり割り、蜜を
 舐め取るソフィー。そのままピチャピチャと
 ミルロのほてったフレメに舌を
 這わせます。

いつの間にか堂々の
 3Pになっていました。





『ミミルロさま！
お口をおはなし
ください…我が
オチンチンから…
何かが出そうです…ッッ』
『ティオ様…ご安心下さい…。これは
殿方が立派な大人になる為の
大切な儀式なのです。たっぷりと…
ミルロさんの口の中に吐き出して
ください♪』
ソフィーが艶然と微笑みながら言います。

ドクッ！ド…ドクンッ！！

あまりの勢いで射精したためにティオのオチンチンはミルロの口から抜け、その整った顔に白濁した液を撒き散らしてしまいました。紅潮した顔の上に赤と白の綺麗なコントラストが描かれ、とろりと精液がこぼれます。

『あらあらミルロさんたら…。これがホントの「しずくのプリンセス」ですわね♪』
楽しそうに言うソフィー。

ダジャレオチガよ…！ティオとミルロは肩で息をしながら、心の中でツッコみました。

☆おしまい☆



☆伝説のチカラ☆

～後編～

空鶴

やーやー
我が名は
ティオである！

メラミンの国の
プリンセスなるぞ
ー！！

そんな事
知っているわ
ティオ…



我が妹
リオネの
窮地とあらば

兄である
このティオが
駆けつけるは当然
であるっ！！

…私、
別に窮地
なんかじゃ…



そ、それよりも
何で私は
縛られているの？

決ましている
ではないか！







流石だ
我が妹!

まるで
食されている
かの様だ!!



…お口が
…勝手に…

おおっ!



もじ
ガマンの限界!!

射精する
準備万端!!

きゃん



出すなら屋内に
出すのだ!!

やっ…あ
熱い!!

フツ
フツ

フツ
フツ

フツ
フツ



私達兄妹なのに
こんなことはい
…だめえっ!!

ティオ
だめエ〜!!

なか
瞳内に吐ける
出ちまっしゅ〜!!



いっせー
まだまだ吐ける
ぞおー!!

これも
このブルマの
かなんだー!!



私...おかしくなっちゃうのよ!!

こえー!!



ダメー!

あ...ちんちん



やーやー
我が妹よー!

最後は一番奥に
ニ。ニ。ニ。ニ。
ニ。ニ。ニ。ニ。!!



お父様!!
いっしょにヨウソウ

ヨウソウ!!

ゴゴゴ

ゴゴ

ゴゴ



待て
待て
いい!!

ゴゴゴ

ゴゴ

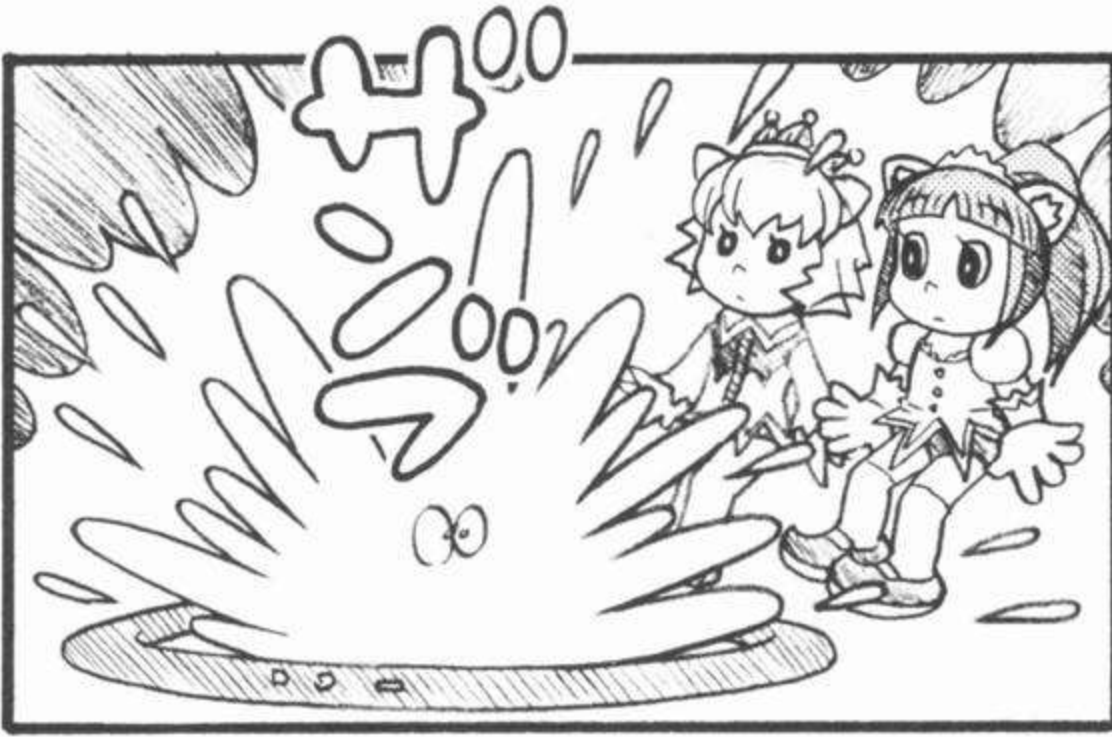
待て待て



お父様!?

ゴゴ

タプーだア
タプーだア
タプーだア
!!!



30



おしまい



★作品解説★

ってなわけで、ふたご姫
でした～！久しぶりの同人
誌、激ロリっ娘の双子さんに
緊張です！（笑）う～ん…
もっと可愛く描きたかった…。
力及ばず、惨敗です。次に
期待！と自分で自分に言っ
てみる。

ふたご姫、面白いですね！
やっぱり佐藤監督凄いなあ。
単純にびっくりするくらい
可愛いですよねー。もうびっ
くりの連続！出来るだけ長
く続いて欲しいなあと、切に
思う次第です。

さてさて、作業を終えてみて
改めてビックリ…。久しぶりだど
いうのに、…『ブルマ』ネタやり
過ぎっ！！もう一丁やり過ぎ！！
いや～、ひどいですね（笑）
スンマセン。

ではまた次の機会に～。

←こちらはしずくの国の
ミルロ姫。早くどんな娘
なのを知りたいです。
…とりあえず下着は
ブルマ…にしよう！（笑）

DRAMATIC ADULT COMIC

MOTHER

マザー



FOR ADULT エプモ!



RIROLAND